

お子さんが新型コロナウイルスに感染したら
～ご家庭でできるケアをまとめました～

Miyagi Pediatric COVID-19 Team
宮城県小児コロナウイルス感染症対策チーム

お子さんがコロナウイルス感染症と診断されたら

①保健所（支所）から連絡が入ります。

- 検査を受けた医療機関に伝えた電話番号に連絡が入ります。
- 発症2日前からの行動をまとめておくとい良いでしょう。

②保健所がお子さんの状況を確認します。

- 現在の症状やこれまでの経過
- 通院中の病気の治療状況、かかりつけ医
- コロナワクチン接種状況

③どこで療養するのかを決めます。

- お子さんの症状や下記の事項等をふまえ、保健所・行政が判断します。
 - ご家族ですでに陽性になった方や、症状が出現している方の有無
 - ご家族で重症化リスクが高い方の有無
 - ご自宅で感染対策が可能か

お子さんがコロナウイルス感染症と診断されたら

④必要と判断された場合は、医療機関を受診してください

- お子さんの状況や通院中の病気等をふまえ、受診していただく場合があります。
- 受診する医療機関は保健所が調整します。かかりつけ医が診察可能な場合はご案内します。

⑤健康観察をして、ご報告をお願いします

- 体調（体温・症状・食欲など）をチェックし、保健所から指示があった方法でご報告下さい。
- 報告方法はオンライン入力、電話自動応答、決まった時間に毎日電話して頂く方法があります。
- 宮城県の健康観察方法は「健康観察の方法（My HERSYS、自動架電、健康コール）について」[宮城県ホームページ](#)をご覧ください。

* 仙台市の方は[仙台市のホームページ](#)をご参照ください。保健所により一部異なります。

⑥濃厚接触者に関する説明をうけます

- 同居家族は濃厚接触者に該当します。
- 一定期間、健康観察および自宅待機が必要となります。期間は保健所にご確認ください。
- 濃厚接触者が発症した際の指示を受けてください。

お子さんがコロナウイルス感染症と診断されたら

⑦幼稚園・保育園・学校等への連絡

- 園（学校）へ感染の連絡をする際、担当者へ下記をお伝えください。
 - 診断日
 - 発症日（保健所に確認してください）
 - 最終登園（登校）日
 - 療養終了予定日（もし保健所から伝えられていた場合）

療養解除基準

【症状あり】

発症日（=症状出現日=0日）から10日以上かつ症状軽快後72 時間経過
または症状軽快後24時間以上空けて2回PCR等の検査を行い陰性

【症状なし】検体採取日から7 日経過後

※上記はあくまでも一つの基準です。担当保健所（支所）で確認してください。

健康観察

体調の確認

- 1日2回検温をして、体調を観察してください。自宅療養の場合は健康状態把握のため、クリニック等から連絡が入ります。
- 高熱の継続、咳、息苦しさなどの「[気を付けるべき症状](#)」に悪化があった場合はクリニック（診療時間内）、受診・相談センター（コールセンター）または担当保健所支所に連絡してください（[困ったときの相談窓口一覧](#)）。

※上記はあくまでも一つの基準です。担当保健所支所で確認してください。

自宅療養の注意点

生活上の注意点

- 感染拡大防止のためご本人は外出せず、自宅で過ごしてください。自宅内でも必要最小限の行動にとどめてください。
- ご家族など同居の方も、生活上必要な外出を除き、不要不急の外出は控えましょう。外出する場合はマスクを着用してください。
- 外部からの不要不急の訪問者は受け入れないようにしましょう。

同居者がいる場合

- タオルの共用を避け、可能な限り空間を分けて生活してください。
- マスクと手洗い、アルコール消毒を心がけてください。
- 手を触れる共用部分はアルコールで消毒しましょう。
- 使用したティッシュはビニール袋に入れて密封して廃棄してください。

自宅療養者等支援物品配送サービス

陽性の方で、食料品等のストックがなく、支援を希望される方を対象として、1週間程度の食料品・日用品の支援物品をご自宅に配送します。
原則、電子申請で申し込みください。

申し込み方法：電子申請：<https://bit.ly/3oF2SEQ>

右のQRコードも使用できます。

電話 [022-214-8739](tel:022-214-8739)（月曜日～金曜日 8：30～16：30）

できるだけ[仙台市のホームページ](#)をご参照ください。



気を付けるべき症状

- 38 度以上, 3 日間以上続いている
- ひどくだるそう
- 水分がとれない・母乳ミルクを飲まない
- 尿の回数がいつもより少ない

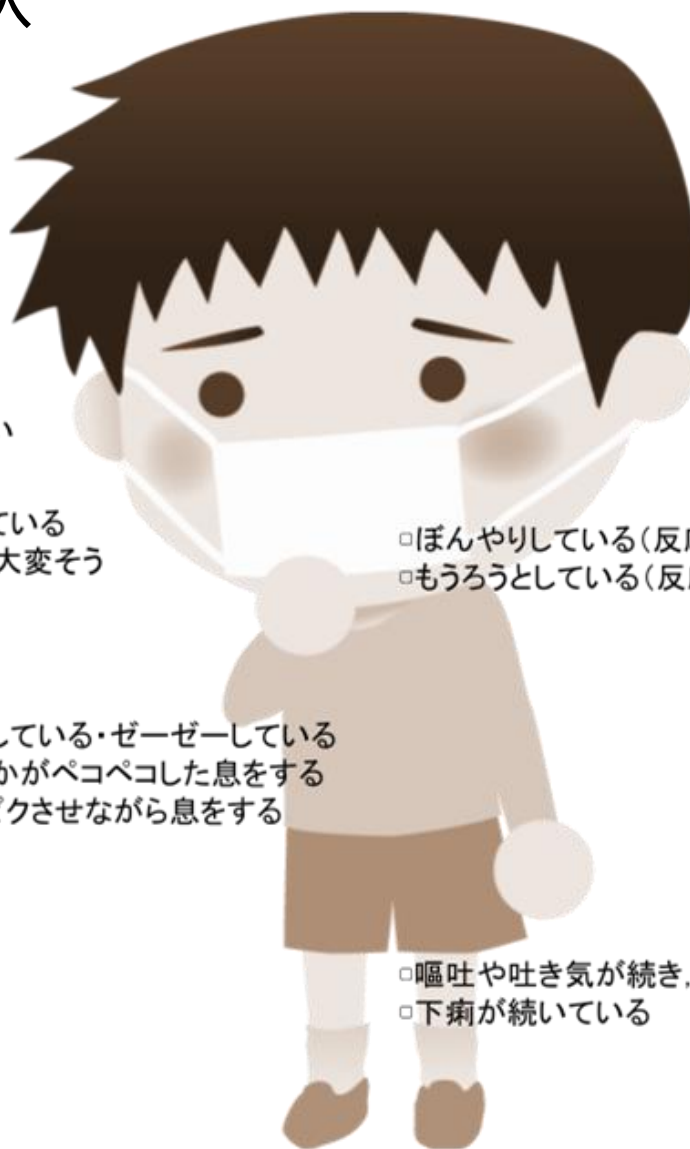
- 顔色が明らかに悪い
- 唇が紫色になっている
- いつもと違う, 様子がおかしい

- 咳や痰が続きひどくなっている
- 速い呼吸, 息をするのが大変そう
- 少し動くと苦しそう

- 肩で息をしている・ゼーゼーしている
- 胸やおなかがペコペコした息をする
- 鼻をピクピクさせながら息をする

- ぼんやりしている(反応が鈍い)
- もうろうとしている(反応がない・乏しい)

- 嘔吐や吐き気が続き, ひどくなっている
- 下痢が続いている



自宅療養：家庭でのケアのポイント

お子さんの新型コロナウイルス感染症はほとんどの場合軽症ですが、「気を付けるべき症状」，特に呼吸の様子，意識，食欲に注意しましょう。気になる症状があるときは，落ち着いて，連絡先に相談しましょう。

熱が高いとき

体温が高くても，機嫌がよく，食事もとれている場合には，水分をとらせて様子を見ましょう。38℃を越える熱のためにぐったりしている，食欲がない，という場合には，処方されている熱さまし（アンヒバ坐薬やアセトアミノフェン，カロナールなど）を使いましょう。手足が冷たいうちは まだ熱が上がるので，手足が温かくなって熱が上がりきったところで使うと効果的です。6時間ごとに使い，熱が下がっている間に水分をとらせてあげて下さい。

けいれんしたとき

熱が高いときに，手足をばたんばたん動かし，白目をむく，意識がない，などの状態になったときは熱性けいれんの可能性があります。落ち着いて，お子さんを横向きに寝かせ，吐いた場合に吐物で息ができなくならないように気を付けます。口に何か入れたり噛ませたりしてはいけません。けいれんが治まるまでの時間を測りましょう。多くは5分以内に止まります。止まったら，保健所から案内されている連絡先または困ったときの相談窓口一覧に電話で相談しましょう。5分たってもけいれんが続いているときは 救急車を呼んでかまいません。

自宅療養：家庭でのケアのポイント

吐いているとき

オミクロン株では、吐き気や下痢などのおなかの症状が増えています。吐き続けていても、少しずつ水分を採らせていくことでひどい脱水を防ぐことができます。逆に、水分・糖分を採らずにいると吐き気が長びいてしまう場合があります。

少し吐き気がおさまっているときをねらい、ティースプーン1杯程度の経口補水液（水分・塩分・糖分を含むものが理想的ですが、麦茶やりんごジュースなど、お子さんの飲みやすいものでもよいです）を飲ませてみましょう。これを5分おきに繰り返し、少しずつ間隔を短く、量を増やして行きましょう。市販の経口補水液などが効果的ですが、塩分を含んだスポーツドリンク、味噌汁、野菜スープなどで代用してもかまいません。

下痢をしているとき

下痢がひどいときも、飲んだり食べたりすると刺激で下痢が出るかもしれませんが、食事や水分摂取を止めず、少しずつあげてください。揚げ物やインスタントラーメンなど油の多いものは下痢を増やすことがあります。うどんやおにぎり、食パン、バナナ、りんごなどおなかにやさしい食品を選びましょう。

自宅療養：家庭でのケアのポイント

咳がひどいとき

熱が下がり、回復期に入ると、たまった痰を出すために咳がひどくなる場合があります。処方された薬を内服させたり、加湿したり、背中に枕を入れて眠るなどの対応を試みましょう。咳き込みが強くて吐いてしまう、食欲がなくなってしまう、ぜいぜいしておなかがぺこぺこことへこむ、オットセイの泣き声や犬の遠吠えのような変な音の咳が出る、などの症状があるときは、あるいは保健康所から案内されている連絡先または困ったときの相談窓口一覧に電話で相談しましょう。

救急車を呼ぶ前に

お子さんの状態が心配で、救急車を呼びたくなる場面があるかもしれません。現在、具合の悪い子供の患者さんたちをどの病院に行っていたか、多くの医師や保健康所の職員で毎日調整をしています。救急車で搬送となると、別の調整が必要となり、コロナ以外の事故や急病の方の搬送にも支障をきたします。

現状では、けいれんが続き意識がない、呼吸が苦しく意識がない、顔色が悪く意識がない、

以外の状況では救急車を呼ばず、まずは相談先に連絡していただきたく思います。多くの方に少しでも早く回復に向かっていただければと思います。よろしくお願いします。

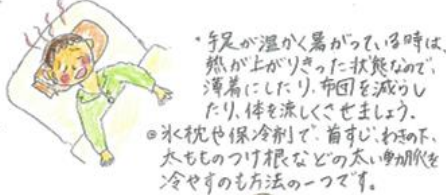
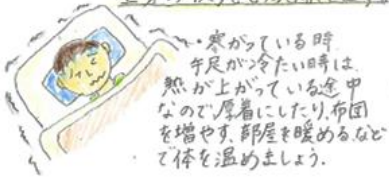
新型コロナウイルスに感染した

お子さんの自宅での観察とケアのポイント

お子さんが新型コロナウイルスに罹った場合、自宅療養ではどのような様子に注目して看病をするのがよいのかをまとめてみました。

発熱

37.5℃以上が一般的に発熱とされていますが、熱だけでなく全身の状態を観察します。



熱性けいれんが起きた時



顔は横に向けて吐いた時にのどをつまらせないようにして下さい。

生後3ヵ月未満のお子さんが38℃以上の熱が出た時は、早めに受診した方が良いでしょう。

熱がある時には、脱水に気をつけましょう。

高い熱が出た時には汗もたくさんかいています。体からは水分だけでなく塩分やミネラルが汗で出てしまいます。ただのお水やお茶を飲ませるよりも、塩分などを含んでいる経口補水液を飲ませると良いでしょう。な時は、スポーツドリンク、野菜を煮たスープ、みそ汁などを飲ませてもよいです。



尿量

半日以上(12時間)おしっこが出ていない時には、要注視しましょう。



水分もとれていない、元気がなくなったりしている。いつもと違って青白い顔色、口唇が乾いてカサカサ、話しかけても反応が薄い、目がうつろな感じ。このような様子の時には早めに受診して下さい。

嘔吐



下痢

1~2回ではなく頻回に起こる、その他にも強い腹痛、血が混じる、尿が少ない上記の症状がある時は気をつけて下さい。

嘔吐後はすぐに水分を飲ませずに落ち着いてきたら、少しずつ始めます。下痢が頻回の時には、脱水症状を引き起こしやすいので、水分を控えることなく、補給しましょう。オムツのお子さんはおしりのたれれも自己なので、ぬるま湯でコットンなどを濡して洗ってあげてもよいです。

食欲



のどの痛みや違和感、発熱や下痢などの時には、食欲がなくなり、いつもと同じように飲んだり食べたりできないことも起こります。

下痢などで胃腸が弱っている時には、刺激の強いもの、油分の多いものは避けて、おかゆやうどんのような消化のよいものを食べましょう。のどが痛い時は、のどごしのよいもの、ゼリー、湯豆腐など食べやすいものを。

食べたがらない時は無理に食べさせず、食べたがる分だけあげましょう。食事ができなくても、水分をとることができておしっこが出ていれば様子を見て大丈夫です。

呼吸



呼吸の状態を確認するために、自宅療養の方に血液中の酸素飽和度を測る「パルスオキシメーター」が貸し出されています。95%以下が受診の目安としています。目で見ていてわかる呼吸の様子で、注意が必要なものが下記になります。



肩呼吸



陥没呼吸

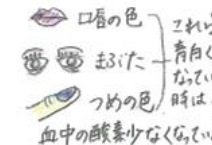


鼻翼呼吸

息苦しさそうな様子や呼吸の回数が少なくて様子がおかしい時には早めに受診しましょう。

咳

咳にも種類があり、乾いた咳や痰のからんだ咳、そして下記のような咳があります。のどが炎症を起して腫れている、空気の通り道が狭くなってしまったり、息苦しくなるので注意が必要です。



呼吸するのが辛そうな時は、



上半身を起こして布団を丸めておたれから下り、座椅子に座ったり楽になる姿勢をとりましょう。

もし、意識がなくなってしまうたら、すぐに119番で救急車を呼んで下さい。



息をしていない時には、おお向けにしてあごの先を持ち上げて頭を後ろに反らして、気道確保して下さい。

長い期間の新型コロナウイルス感染症の自宅療養は、感染予防にも気を遣うので看病は不安も多くなると思います。症状の悪化の際には担当の保健所やかかりつけ医に相談をしましょう。

困ったときの相談窓口一覧

- ・ 宮城県

保健所から案内されている電話番号

各保健所・支所・宮城県フォローアップセンター

- ・ 仙台市

[こども夜間安心コール](#)

#8000 毎日午後7時から翌朝午前8時まで

プッシュ回線以外の固定電話・PHS等：022-212-9390

自宅療養のポイント リンク集

- [コロナウイルス感染症と診断されたら（かわむらこどもクリニック）](#)
- [陽性と診断された方へ 仙台市ウェブサイト](#)
- [新型コロナウイルス感染症と診断された方へ - 宮城県公式ウェブサイト](#)
- [自宅療養のポイント（国立成育医療研究センター）](#)
- [自宅療養で感染を広げないために（東京都ハンドブック）](#)

お子さまの一日も早いご回復をお祈りしています！